

(様式1)

親子の学び応援講座実践報告書

名 称	南会津町立舘岩小学校
講座開催日	平成29年7月7日
会 場	南会津町立舘岩小学校 多目的ホール
参加人数	40名
実践活動テーマ	PTAが主体となり、学校と家庭が連携した家庭教育のあり方を考えていく。特に、保護者として子どもの生育にどのように関わっていけば良いかを考える機会とする。
テーマ設定の理由及び実践活動のねらい	情報端末は、大人だけでなく子どもの世界にも広まっている。本地域でも普及が進んでいるが、その一方で様々なトラブルも発生している。そのため、PTAと連携し、家庭教育について親自身が今後の情報教育を学ぶ機会とする。
講座及び実践活動内容	
<p>講師として独立法人国立病院機構仙台医療センター小児科・田澤雄作氏を招き、「メディアの利便性と危険性」という情報端末と児童、保護者との関わり方について講演を実施した。教職員を含め40名が参加した。</p> <p>講演内容は、スマートフォンの使用が脳に与える影響や精神的な障害に結びつく危険性を訴えるものであった。使用に際する利便性はもちろんのことであるが、トラブルや犯罪に結びつく事例もある。しかし、それら以上に人間の持つ豊かな心を蝕む危険性があることを学ぶことができた。特に、幼少期からの使用は、精神の成長期において大きな影響力を与えるものであることや、保護者を含めた大人が環境を整えながらどのように子どもの精神的な成長に関わっていくか等を深く考えることができた。</p> <p>参加者の感想</p> <ul style="list-style-type: none">○スマホなどとても便利な世の中になったけれど、いまではあまりにも使いすぎて勉強しなくなったりする子どもの姿をみて、なかなか使用について困っている。自分の責任を感じている。○スマホだけでなくゲームでも、人間らしさが失われることに驚いている。学校だけに頼らず家庭でのルールを決めて使わせたい。 <p>過疎地域ながらも現代的な変化を遂げている本地域においても、情報端末等の利用については子どもへの指導とともに学校と家庭が連携していくこと、さらに地域コミュニティそのもののあり方を振り返る良い機会となった。</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"></div>	

※講座及び活動内容の概要を記入してください。また、内容が分かる写真等を挿入してください。参考資料があれば添付してください。